令和３年度

事　業　計　画

社会福祉法人　ふらっと

社会福祉法人ふらっと　基本理念

1　私たちは、ノーマライゼーションの理念や、ユニバーサルデザインの考え方を大切にし、全ての市民が住みやすい福祉社会の実現に向かって努力します。

2　私たちは、あらゆる障害をもつ人々の「自立」や「地域生活」を応援します。

3　障害当事者が当事者をサポートするイメージを大切にし、運営する施設の職員や相談員、介護スタッフも「できる可能性」を最大限追及し、前面に押し出しながら雇用の場も創出します。

4　私たちは、松江市内に限らず、広域行政を意識しながら在宅支援のネットワーク化を図ります。

は　じ　め　に

2021年度は、昨年度から続く、新型コロナウイルス感染症の影響の中でスタートする。その中でふらっとは、引き続き法人全体の目標を「あらゆる関係性において良好な関係を築くこと」として取り組むこととする。また、昨年取り組めていない今後の中期経営計画についても考える一年とする。

引き続き目標にした「あらゆる関係性において良好な関係を築くこと」については、法人内の従業員定着率の向上、利用者や顧客満足度の向上、他法人との連携強化、地域との協動等を高めていく上でも基本となることである。今年度は、国の報酬改定においても、上記したこと等を評価する方式が取り入れられることからも、基本となる関係性構築は重要な要素である。コロナ禍においても感染対策を行いながら、あらゆる関係性を良好に保ち、共生社会に向けて歩みを止めることなく、状況に応じた取り組みを継続して取り組んでいく。

障がい者就労分野では、就労支援施策も一般就労を推進しており、企業における障がい者雇用機会も増加している。しかし、就労継続支援事業所へのニーズもまだまだ多い。障がい者の地域生活を充実したものにするためにも重要なものである。

ふらっとは、就労支援を軸にして事業展開している法人である。コロナ禍において、法人事業はかなりの影響を受けているが、障がい者の「働きたい」「役に立ちたい」という思いに応えていくためにも、安定した事業継続を可能とし、一人一人が活きるよう支援体制強化を図っていく。

また、個別支援の充実と就労事業収入の安定増収を同時に推進するには、一貫した考え方のもとで、体制の充実と役割分担の明確化が必要であると考えている。コロナ禍の影響もあり、事業部門は体制構築等に課題もあった。今年度は中期経営計画作成や支援体制と合わせて、いくつかプロジェクトを立ち上げ、PDCAサイクルによる取り組み等、法人全体で工夫していく。

特に就労継続支援A型事業所は、働く環境において可能な限り、企業同様の関係性構築や利用者の職員登用を含めたキャリアアップできる仕組みを作り出していく必要がある。地域に必要とされる事業を共に発展させ、継続して働ける環境を充実させていくことで、障がい者が誇りを持って働く場として、将来に希望の持てるよう充実させていく。

就労継続支援B型事業所についても、基本的に同様の考え方に基づいて、よりステップアップできる場所として様々な取り組みを行い、地域と繋がりを持ちながら連携した事業の開拓を進めていく。

そのような環境を充実させていくためには、支援に携わる職員も貴重な人材として専門性を高め、支援力を磨いていく必要がある。共に事業を発展させていく法人の一員として、障がい者の活きたい思いを支え、共に地域に貢献できる人材として成長してほしい。

法人としても将来に向けて、次世代を担っていく人材を育成していく必要がある。研修機会や他法人との交流機会を設けながら、連係した取り組みも増やしていく。職員の処遇改善も進め、個人やチームで取り組むことに自信や誇りを持てるようにしていく。

松江市は基幹相談センターの立ち上げを一年延期したが、地域生活を望む障がい者がそれぞれの地域生活を実現し、充実したものにするためには、様々な課題がまだまだある。

実際ふらっとでも、年齢を重ね、両親も高齢になり、今後の地域生活をどのように考えていくか、といった課題も表面化してきている。また、ヘルパー等の支援者不足や制度外のサービスへのニーズもあると聞く。

このような課題に対しても、相談支援事業等を通じて情報を集め、分析しながら、必要なサービスが充実するように、障がい当事者や福祉関係者だけでなく地域と連係した取り組みを実現していきたい。障がい者も地域住民として、地域課題の解決に向けて前向きに取り組んでいければ、障がい者の地域生活拡大も進みやすくなるだろう。法人としても取り組みを支えつつ、就労分野に限らず新たなサービスの開発にも目を向けていきたい。

法人の中期経営計画については、来年法人が 20 年を迎える中で、5 年後 10 年後をイメージして具体的なものにする必要がある。役員も改選時期になる。コロナ禍で経営状況は未だ厳しい中で、ふらっとの今後をどうしていくか真剣に考える必要がある。役員のみでなく現場で働く従業員も議論に加えながら、次世代をイメージし理念に基づいた具体的な指針として計画したい。

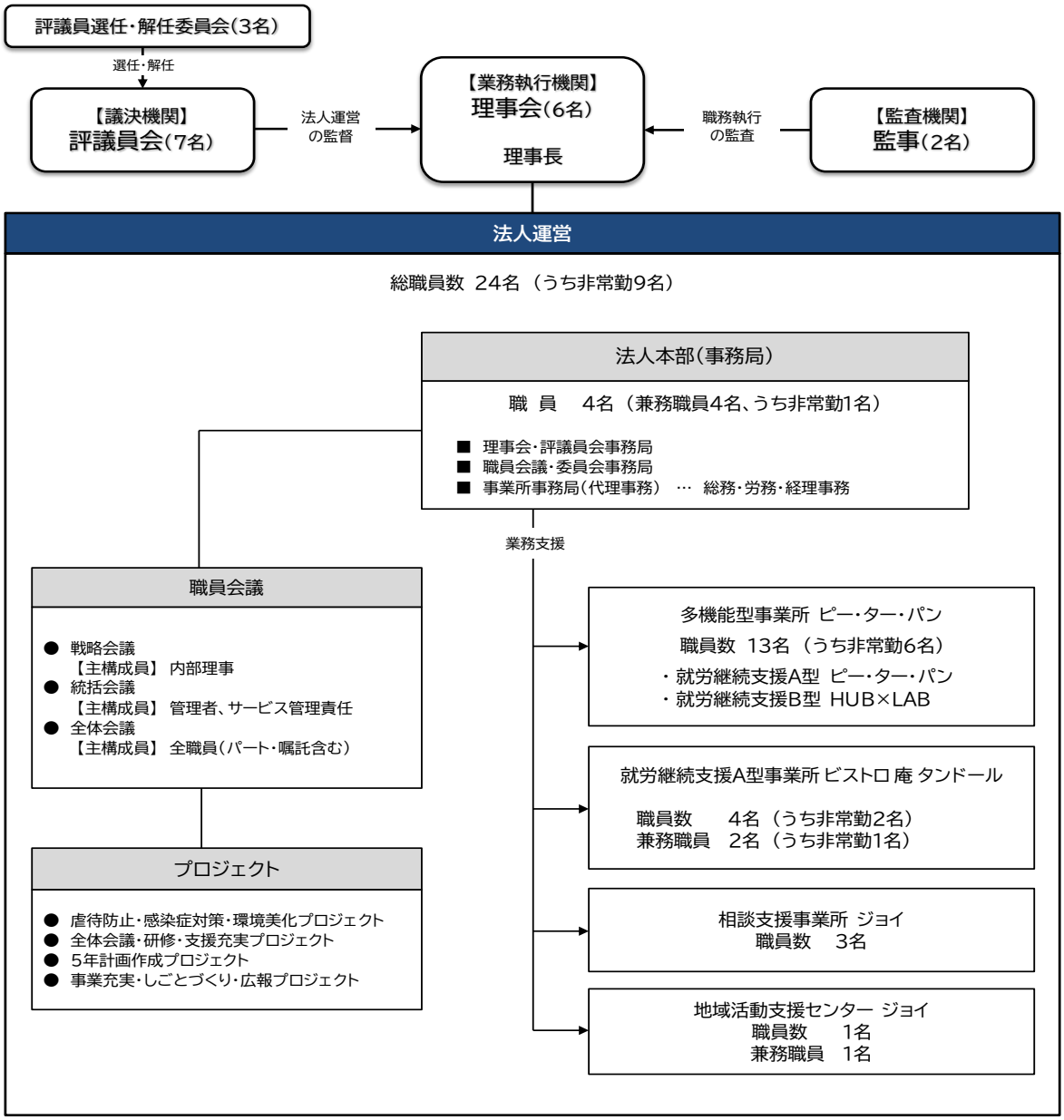
これまで記したことを具体的な形で取り組んでいくことで、コロナ禍やアフターコロナに向けて好転していくと信じる。

障がい者の地域生活を充実したものにするためにも、地域福祉の発展のためにも、法人全体で地域に必要とされる取り組みを実行していき、改善を進めていく。

社会福祉法人　ふらっと
理事長　新　田　裕　之

第１章　組織図と職員体制

社会福祉法人ふらっと　組織図



第２章　法人組織と運営

１　評議員会（７名）

・ 法人運営の基本ルールや体制などの重要事項の決定を行い、事後的に法人運営を監督する議決機関

・ 理事会の決議に基づき理事長が招集する

・ 定時評議員会を６月に開催するほか、必要に応じて臨時的に開催する

2　理事会（理事６名、監事２名）

・ 法人の業務執行に関する意思決定機関

・ 理事長が招集し、原則年４回開催するほか、必要に応じて臨時的に開催する

3　職員会議

（１） 戦略会議（主構成員：内部理事）

法人運営を安定的、発展的に行うために、人事、経営戦略等を意思決定する。

（２） 統括会議（主構成員：管理者、サービス管理責任者）

法人や各事業所の状況報告や課題提出を受け、連携して事業ができるように忌憚なく話しあう。

（３） 全体会議（構成員：全職員）

法人の運営方針を直接全職員に伝え、現場での気付きを共有し合う。

4　プロジェクト

（１） 虐待防止・感染症対策・環境美化プロジェクト

虐待防止マニュアル、新型コロナウイルス感染症対応マニュアル、規程等に則した各種委員会の運営、取り組みの実施

（２） 全体会議・研修・支援充実プロジェクト

全体会議や職員研修の企画・運営、利用者支援を充実させる取り組みの実施

（３） ５年計画作成プロジェクト

統括会議の構成員＋αにより５年計画を検討する

（４） 事業充実・しごとづくり・広報プロジェクト

統括会議の構成員＋αにより、事業の充実、新たな仕事の創出、広報活動について検討する

第３章　法人本部の組織目標と重点実施項目

１　目　的

- 社会福祉法人ふらっとが、社会貢献を実践するために、法人本部が担える役割を追求する。
- 法人の持続可能な経営が盤石なものとなるよう、計画的な経営を推進するために、適時・適切な会計業務の整備を、基幹的業務として担う。
- また、時代の変化に対応した環境整備として、フェアで透明性の高い労務管理を行いながら、全職員の成長につながるよう高度な情報提供と事務処理を行う。

２　目　標

（１）　長期目標

①　職員一人ひとりが様々な場面で自立的に考えて業務にあたり、全員の力が一つになった地域№１の法人

②　福祉に関わる誰もが「いつかはふらっとで働きたい」と思ってもらえる法人、職員にとって働きやすい法人

（２）　中期目標

①　職員に対する法人および各事業の理念の浸透

②　次世代幹部職員及び管理職の育成

③　社会福祉法人たる事業の実施

④　法人内情報システムのあり方の検討

（３）　本年度目標

①　本部機能の強化
- 担当業務の専門性の強化
- 経理関係書類のチェック機能の強化

②　ムリ・ムダ・ムラの削減
- 保管書類の整理
- 各事業所への改善提案・指示
- 報告・連絡・相談の徹底（法人内部及び事業所間）

③　年間スケジュールに基づいた業務の実施

④　計画的な資金繰り

⑤　各事業所の積極的な補助金・助成金活用の支援

3　重点実施項目

（１）　課題解決

①　新型コロナウイルス感染症対策を見据えた資金繰りの統制

②　感染症対応マニュアルに則った感染症予防の徹底

③　有給休暇取得の徹底、有休残日数の管理の強化

④　固定資産の管理の徹底

（２）　予　算

①　設備支出

修繕費（トイレ、エアコン等）	50,000円

②　備品支出

書類整理棚の購入（２台）	100,000円
冷暖房器具の購入	30,000円

（３）　人材育成

①　適正な人員配置に関する助言

②　次世代幹部職員育成のための研修の実施・派遣・勤務調整

（４）　各種規程・規定の見直し

法改正等に対応した規程・規定の作成

4　年間スケジュール

４月	**・評議員選任・解任委員会（４月上旬）** ・松江市障がい者雇用支援事業費補助金実績報告（確定） ・退職金共済更新、掛金納付（４月中）⇒ＷＡＭＮＥＴ ・事業報告書作成（～５月上旬） ・介護給付費等算定に係る体制等に関する届出書（変更予定） ・処遇改善計画書（令和３年度分／4/15〆切 ※特例による提出期限延期） ・地域活動支援センター決算書（案）提出（松江市）
５月	**・決算** ・監事監査 ・賃金（工賃）実績報告（島根県） ・消費税支払（５月末）
６月	・松江市障がい者雇用支援事業費補助金申請 ・財務諸表電子開示システムによる情報公表（現況報告書、財務諸表） **・理事会及び定時評議員会（決算、事業報告、役員・評議員の選任）** ・総資産額の変更届（法務局：６月末〆切）

7月	・処遇改善加算実績報告（島根県） ・労働保険年度更新の申告（7/10 頃締切） ・被保険者報酬算定基礎届（健康保険・厚生年金保険） ・36 協定締結（労働局） ・高年齢者、障害者雇用状況報告（厚労省） ・障害者雇用納付金制度　報奨金申請 ・公益法人等の損益計算書等（税務署：7月末） ・ビストロ庵タンドール腸内細菌検査
8月	・いきいきプラザ報告書（8/31〆切） ・夏季休業（8/12～8/13）
9月	・社会保険料率改正 **・理事会（第1次補正予算）**
１０月	・最低賃金改定 ・地域活動支援センター決算見込（松江市）
１１月	・年末調整（控除申告書の配付） ・ビストロ庵タンドール腸内細菌検査、ノロウイルス検査 ・インフルエンザ予防接種実施呼びかけ
１２月	・年末調整（最終支払給与及び年税額算出） **・理事会（第2次補正予算）** ・仕事納め（12/28）
1月	・仕事始め（1/5） ・法定調書（税務署）、給与支払報告書（各市町村）の提出 ・次年度の健康診断予約開始（生協病院） **・実地指導監査（本部）**
2月	・処遇改善計画書（島根県） ・内部監査 ・事業計画作成
3月	・介護給付費等算定に係る体制等に関する届出書（新年度分） ・松江市障がい者雇用支援事業費補助金実績報告（事前） **・理事会（予算、事業計画、第3次補正予算※必要な場合のみ）** ・棚卸し

第４章　事業所ごとの組織目標と重点実施項目

応援スタジオ　ジョイ

相談支援センター　ジョイ

1　目　的

あらゆる関係性において良好な関係を築くこと。

2　目　標

（１）長期目標

①　対象者の地域生活に必要な社会資源の課題の解決や開発を行政や関係者とともに行う。

②　対象者があらゆる関係者と適切なつながりをもつことができる関係性（支えるネットワーク）をつくる。

③　事業所体制を維持する。

（２）短期目標

①　令和４年度松江市基幹相談支援センター立ち上げに向けて、関係者と協議しながら、相談支援事業所ジョイとしての役割を明確にする。

②　対象者はもちろん、場やチームに合わせて“柔軟”に、“しなやか”に対応する。

③　事業所として独立採算に向けた取り組みを実施する。

3　重点実施項目

（１）課題解決

①　役割分担

・松江市の障がい者相談支援事業の委託を受け、相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うともに、虐待の防止及びその早期発見のための関係機関との連絡調整その他権利擁護のために必要な支援を行う（総合支援法に規定する基本相談業務）。また、サポートステーション絆からの派遣を受け、基本相談支援を行う。令和4年度松江市基幹相談支援センター立ち上げに向けて、関係者と協議しながら、当相談支援事業所の役割を明確にする。

・月１回開催される松江市相談支援専門員協議会連絡会に参加し、相談員相互の交流を図り、関係機関との連携を密にし、相談員の資質向上と専門性の確立を図る。共に地域で暮らす者として、相互に安心して暮らせる地域社会の実現のために社会資源の課題や開発を行政とともに行う。

・事業所として独立採算に向けた取り組みを実施する。１カ月当たりの相談員１人当たりのモニタリング（更新等を含め）20件を目指す。具体的には以下の取り組みを行う。

（a）　相談員個々の計画相談にかかわる担当件数を維持する。

（b）　対象者個々に適切なモニタリングを設定する。

（c）　報酬体系見直しに伴う新たな加算を理解し、実践する。

（２）　予　算

①　相談支援給付費収入

・計画相談　…　750万円目標

・松江市障がい者相談支援事業委託料　…　270万円

・サポートステーション絆委託料　…　15万円

・IIJエンジニアリング相談　…　1万円

②　設備支出

・更　新　…　予定なし

・買い換え　…　予定なし

・修　繕　…　未定

（３）　人材育成

①　研修(事業所外)

・　サポートステーション絆主催の研修会（関係機関との意見交換会、アセスメント力向上事例検討会、等）への参加（１カ月に１回程度）

・　松江市研修推進チーム主催の研修会への参加。

・　島根県相談支援専門員協会主催の研修会への参加（１カ月に１回程度）。

・　松江市相談支援専門員協議会主催の研修会への参加（連絡会開催時に合わせて開催予定）。

・　相談支援専門員現認者研修への参加（今年度１名参加予定）。

・　島根県相談支援従事者専門コース別研修「ファシリテーター養成研修」への参加（１名）。

②　研修（事業所内）

・　定期的にミーティングを行い、相談員個々の思考、技術等を磨き上げる。

・　２週間に１回、ケース会議を行い、互いに尊重しながらも、もう一方で互いに自分を戒め、もう一度フラットに見つめ直す。

・　毎朝の朝礼時に、１日の予定を確認する。スケジュールについては各相談員がパソコンに入力し、共通で閲覧し、把握する。

4　実施事業

（１）事業所内外

①　松江市障がい者相談支援事業委託（障がい者相談支援、サポート絆運営）

②　指定特定相談（計画相談支援、基本相談支援）

③　指定一般相談（地域相談支援）

（２）利用者

①　障がい者

②　障がい児

（３）各団体

①　島根県相談支援専門員協会会員

②　松江市相談支援専門員協議会会員（1名は協議会役員）

③　松江市社会福祉審議会障がい者福祉専門分科会就労移行検討チーム所属

5　年間スケジュール

年間を通しての予定は特になし。

地域域活動支援センター　ジョイ

1　目　的

障がい者が気軽に集う場として事業を推進する。地域との繋がりを大切にしながら、誰もが楽しめる場所とする。

2　目　標

（１）長期目標

障がい者が地域との繋がりを持ちながら充実した地域生活を継続して送ることができるよう、様々な活動機会を創出していく。

（２） 短期目標

感染症対策を図り、健康維持と文化的活動を軸に、障がい当事者が主体的に地域生活の充実に必要な機会や環境づくりを地域住民と共に考え、活動できるようにする。

3 重点項目

（１） 課題解決

① 地域との連携により各種教室や文化的活動等を企画し、利用者の増加を図っていく。

② 障がい当事者が主体的に地域生活の充実に必要な機会や環境づくりを地域住民と共に考え、活動フィールドを広げることができるよう設備や環境を整えていく。

③ 地域生活における意識調査の実施

（２） 予 算

① 活動支出

教室講師謝金 240,000円（@20,000*12ヶ月）

② 設備支出

パソコン設備更新、研修用ソフトウエア、タブレット、モニター等の導入検討 180,000円（@15,000*12ヶ月程度で検討）

4 実施事業

（１） パソコン教室

（２） 健康維持活動（体操教室：毎週木曜日開催）

（３） 各種教室や文化的活動企画（アクセサリー作り、地酒マイスター、味噌作り体験会、等）

（４） 合理的配慮動画の製作、啓発活動

（５） 障がい者による情報収集・発信（他事業所連携による企画の実施）

（６） 障がい者や障がい者団体諸活動の支援

（７） みんなの地域生活課題を考える機会の創出

多機能型事業所　ピー･ター･パン

就労継続支援Ａ型事業所　ピー・ター・パン

１　目　的

利用者の皆様にとって、理想の職場と実感できるような環境を築きあげることが使命であり、利用者と職員が一体となって、仕事を通じて豊かな人生を築くことを追求していく。

地域において、ピー・ター・パンの存在価値がかけがえの無いものとなるよう、付加価値を追求する。

２　目　標

（１）　支援事業

①　長期目標

・　利用者がやりがいをもって働けるよう、職場環境改善に継続的に取り組む

・　利用者が自分のことは自分で決められるよう、適切な助言や傾聴と共感の支援技術をもって支援を行う

②　短期目標

・　利用日数や利用時間を増やしたいという要望をかなえられるよう、支援と業務確保を充実させる

・　新規利用希望をかなえられるよう、支援と業務確保を充実させる

（２）　就労事業

①　長期目標

(a)　新規事業開拓に積極的に取り組み、成長を続ける事業所を目指す。

(b)　地域№１になれるよう、スタッフ全員がマーケティング意識をもって事業に取り組む。

②　短期目標

(a)　年間売上目標　6,000万円

i.　DTP　　3,900 万円

ii.　マテリアル　　2,000 万円

iii. その他新規事業　　100 万円

3　重点項目

（１）課題解決

① 新規事業展開

(a)　ウエアプリント

ブラザー機の入替えを機会に、新たなマーケットの模索

(b)　３Ｄプリント

ゆめいくワークショップ助成金交付延長の決定

・ 福・学・産連携事業の推進

・ 新規事業展開の推進

(c)　設備整備

オンデマンド印刷機及びプロッターの更新

② 収益確保の取り組み

(a)　優先調達法の効果で見積り案件は増加傾向にあるが、他のＢ型事業所との価格差が著しく必ずしも成果に繋がっていない。また、発注者側の認識も薄い。今後全国的な課題となる可能性もあり、動向を見ながら対応していく。

(b)　新規事業への展開も地域に必要とされるサービスの準備を進めていく。

(c)　出来ること、得意なことを商品化することにより、収益増をねらう。

(d)　コスト削減

i.　製作時のロスを徹底的に削減

印刷に関しては、指示書確認不足による印刷枚数の間違え、内校ミスでの誤刷など。ウエアプリントでは難易度が高くロスが予想される案件については外注。製作時のミスに関しては各部所に責任者を配置するなどして工程チェックの徹底を行う。

ii.　外注費削減

内製不可案件については印刷会社の協力を得て、通常価格より安く仕入れ外注費を落としている。マテリアル製品については、設備整備が整い、特殊素材へのプリント以外は内製可能になっている（難易度の高いモノは除く）。

(e)　売り上げ拡大

i.　営業範囲拡大で売上増

ii.　３Ｄプリンター事業

(f)　新型コロナウイルス感染症対策の徹底

③ 営業戦略

(a) スサノオマジックのブースターは増えてはいないが、物販の売上は延びている。これによりチームからの案件受注を継続して細かく利益確定させる。

(b) あいサポート研修を受講する企業、団体を増やす

(c) 郵便局との取引拡大（奥出雲地域活性化プロジェクト）

(d) 外注先の営業マンに当事業所の設備と製品をＰＲし、印刷やウエアプリントの注文増。営業人員不足を補うため今後も各方面と交流を持ち案件を取る

(e) 印刷事業を行う他福祉事業所と連携し、印刷案件確保を図る。

(f) ウエアプリントに特化することで、迅速なイメージ案提供やサンプル提出など、他社ができないことで差別化を図り受注を増やす。県央、県西部への営業活動

(g) しまね故郷名刺を細かく各圏域用に計画する（システム化計画を図る）

(h) 新規開拓と既存客のリピート率を上げるのにＤＭを活用

(i) 養護学校、福祉事業所などへの積極的な商品提案

(j) 優先調達推進法の徹底を関係機関へ図り、確実に売り上げにつなげる

(k) WEB による情報発信

(l) 地元アーティストの作品を商品化し販売

(m) ピー・ター・パンでのものづくり体験を通して、地域住民とのかかわりを強め福祉への理解を深めてもらう

(n) 福・学・産連携 3D プリンター活用事業を通して、３Ｄプリンター業務の収益化に取り組む。

（２） 予算

① 設備支出

(a) 更新 … 予定なし

(b) 買い替え

i. ブラザー機代替え … 3,400,000円

ii. オンデマンド機更新 … 6,000,000円

iii. プロッター更新 … 2,000,000円

(c) 修繕 … 予定なし

② 備品支出 … 予定なし

③ 建物修繕 … 300,000 円

④ 車両 … 該当なし

⑤ 販売促進 … 936,000 円

（３）　人材育成

① 研修

（a）　サービス管理責任者研修

② 会議・ミーティング

（a）　現場会議　週１回

（b）　事業所内職員研修

4　実施事業

（１）　避難計画・訓練

危機管理マニュアルを整理し、施行できるようにする。

（２）　利用者

利用者勉強会

（３）　各団体

① 松江市Ａ型事業所連絡会（松Ａネット）への参加

② 島根県障がい者就労事業振興センターとの連携

5　年間スケジュール

４月	避難訓練
５月	ＧＷ休暇 故郷名刺改訂
６月	
７月	
８月	夏季休暇
９月	
１０月	避難訓練
１１月	年賀状受付開始
１２月	冬期休暇
１月	冬期休暇
２月	
３月	

就労継続支援Ｂ型事業所　ピー・ター・パン（ＨＵＢ×ＬＡＢ）

１　目　的

事業所名Hub×Labのコンセプトを下記のように解釈し、新しい、魅力的な仕事づくりに取り組みます。

・Hub…　コミュニティの創造を軸とし、広い視点を持って福祉の連携拠点としての役割が果たせるよう活動する。

・Lab…　障がい者の働きやすさや生活のしやすさを探求・追求する。

２　目　標

（１）　支援事業

①　長期目標

・利用者のやりたいこと・したいことを実現することに全力で取り組みます

・利用者主体の寄り添う支援を基本的スタンスに、Ｂ型事業所の理想の姿を追求します

②　短期目標

利用者が来たくなるサービスを追求し、地域のＢ型事業所で№1になれるよう、存在意義を見出していきます

（２）　就労事業

①　長期目標

・利用者の皆様が仕事の魅力を実感できるような事業を展開します

・工賃でも地域№１になれるよう、スタッフ全員がマーケティング意識をもって事業に取り組みます

②　短期目標

(a)　年間売上目標　240万円

どんな仕事がHub×Labを輝かせるのか、2021年度のうちに見出すために新規事業を検討する。

３　重点項目

（１）　課題解決

①　新しい作業の開拓

前年度に導入した業務用ミシンを活かした商品・販路開発

②　チーム力のアップ。期中に事業所運営の方向性を確立させる。

（２）　予算

①　設備支出

(a)　更新

i.　通信費　200,000円

ii.　新規事業研究・開発費　300,000円

iii.　備品購入費　200,000円

(b)　買い替え　…　予定なし

(c)　修繕　…　予定なし

②　販売促進　…　未定

（３）　人材育成

① 研修

(a)　サービス管理責任者研修

② 会議・ミーティング

(a)　工賃評価会議　年３回

(b)　スタッフミーティング　月１回

(c)　事業所内職員研修

4　実施事業

（１）　事業所内・外

① 個別支援計画の充実

② 支援記録の充実

③ 避難計画・訓練

（２）　利用者

① 利用者勉強会

（３）　各団体

① ＮＰＯ法人福祉ネットだんだんネへの参加

② 島根県障がい者就労事業振興センターとの連携

5　年間スケジュール

4月	ＧＷ休暇
5月	ＧＷ休暇
6月	工賃評価
7月	
8月	夏季休暇
9月	
１０月	工賃評価
１１月	
１２月	冬期休暇
1月	冬期休暇
2月	工賃評価
3月	

就労継続支援Ａ型事業所　ビストロ　庵タンドール

1　目　的

あらゆる関係性において良好な関係を築くこと

2　目　標

飲食店として、地域に根差した場所として「行きたいお店」、「働きたいお店」となるよう、常にバリアフリーであり続ける努力をする。
「働く姿勢」を通して、社会にも「働く感動」を与えていく。

新型コロナウイルスの猛威の煽りを最も受けている飲食業界の中であるが、「安心・安全な飲食店、雇用の場」として、社会情勢を的確に見極めながら、事業の継続・発展を進めていく。
店舗営業だけではなく、テイクアウトや販売等の強化をして売り上げを確保する

（１） 支援事業

① 長期目標

「飲食店で働きたい」スタッフに、社会の一員として、自信と誇りを持って生き生きと働けるよう支援していく。

② 短期目標

個々の可能性を活かし、自分の役割を見つけ、育て、継続することが出来る環境作りをしていく。

コロナ渦でやむを得ない時短等の勤務形態でも、不安感を感じられないようなきめ細かな支援をしていく。感染拡大予防の指導も引き続き行っていく。

（２） 就労事業

① 長期目標

家族や友人、職場等、親しみやすいメニューの提供と感染拡大予防を徹底し、お一人様から少人数の会食など、あらゆる用途でご利用いただける工夫をしていく。

② 短期目標

店舗営業とは別の売上確保として、テイクアウトの充実化、その他弁当事業の強化を図る。自粛ムードがいつ解除になっても対応できるよう準備はしていく。

3 重点項目

（１） 課題解決

① ランチ、ディナー、テイクアウトメニューの変更

・ コロナ渦で来客数は減少しているが、お客様に満足して頂けるよう、メニュー開発をし、売上を確保する。

・ 現スタッフが皆、力を付けてきており、出来る事がそれぞれ増えてきている。店舗営業とテイクアウトをさらに強化し、両立していきたい。

② 新しい営業方法や、売り上げに繋がる事業へのチャレンジ

・ 今まで営業したこと無かったモーニングを試験的に始めた。多くのお客様にご利用いただいている。店舗として、意欲のあるところを世間にもＰＲしながら、スタッフの「働くモチベーション」につなげたい。

・ その他にも他店との協力や、店舗営業だけではない事も常に意識しつつ、スタッフの作業確保や満足感、売上に繋げていく。

③　原価率を低下させ利益率ＵＰを図る

・　食材原価をベースに、日々の消耗品、ランニングコストの見直しをスタッフ間で意識統一を図る。

・　食材の保管の仕方、過剰在庫を見直し、ロスを減らす。

（２）　予　算

①　売　上

年間目標　2,000万円

ランチ	：550万円
ディナー	：850万円
イベント・テイクアウト	：300万円
弁　当	：200万円
市役所販売弁当	：100万円

②　支　出

（a）　設備修繕

・　修繕費　…　30万円

・　害虫駆除　…　10万円

（b）　販売促進

・　９周年イベント費用　…　10万円

・　媒体　ＤＭ郵送料　…　８万円（周年、忘年会、年賀状）

（３）　人材育成

①　育　成

・ ホール責任者の補充、育成

・ スタッフ間でのコミュニケーションの強化

・ 役職、ポジションの仕事内容の振り分け

・ 福祉、飲食店のどちらのサービスも強化

②　研　修

社会福祉協議会等の研修に積極的に参加する。

③　会議・ミーティング

・職員会議　…　毎月１回

・個別支援会議　…　年２回以上

・その他、現場ミーティング

4　実施事業

（１）　事業所内外

①　健康診断（年1回）

②　防災訓練（年1回）

（２）　利用者

レクリエーション（食事会等）

（３）　顧　客

９周年の案内、忘新年会の案内、年賀状のＤＭ送付のための顧客管理を積極的に行う（飲み放題会員取得、ランチカード会員取得等）。

（４）　各団体

①　スサノオマジック会場販売

②　各種イベント販売活動

5　年間スケジュール

4月	ランチ、ディナーのグランドメニュー変更
5月	９周年イベント
夏	おひとり様からのビアプラン 腸内細菌検査
秋	ランチメニュー変更
冬	Xmas オードブル 忘新年会コース お年玉企画￥2022 コース 腸内細菌検査
3月	防災訓練

※イベント等については、社会情勢を鑑みながら柔軟に対応する。